

「網島あお整形外科・皮膚科」は、東急東横線網島駅西口より徒歩4分ほどのクリニックモール2階にあります。2024年12月に“気軽に通いやすい存在であるクリニック”を目指して開業しました。



iPadを活用し、各部署の業務を効率化

電子カルテ選定の決め手

『2科あるため受付や患者さんの移動などをスムーズに回せるかというところが重要でした。また、その運用をペーパーレスで行うことも外せない条件でしたが、他社ではできなかったことがQualis Cloud (クオリスクラウド) ではできたことが大きな決め手となりました。加えて、私と妻、それぞれの先輩がQualis Cloudを使っていて勧めてくれたことでも背中を押されました。』
(整形外科・哲也院長)

2診体制でも見やすい受付一覧

『受付一覧が2段表示になり、表示項目もカスタマイズできるのが非常に使いやすいです。2科で診察していますが、医師ごと、診療科ごとに絞り込みができるため自分の患者さんのみが表示され、他科の患者さんが混ざることはありません。』 (哲也院長)

自費カルテ入力

『皮膚科では診察と同時に物品の販売も多いので、その場で自費カルテに切り替えられるのは便利です。診察室で切り替えることで、自動で受付一覧も保険診療と自費診療の2回分になるのでスタッフも一目で自費があったことが分かります』 (皮膚科・恵子副院長)

iPad (Qualis Cloudオプション機能) 活用のメリット

同院ではQualis Cloudのオプション機能として追加リリースされたiPadでのカルテ参照・入力機能も院長、副院長、理学療法士が、それぞれさまざまな場面で活用されています。

『月末にコストの入力漏れがないか、病名の付け忘れがないかをカルテで確認しますが、自宅で確認作業ができて助かっています』 (哲也院長)

『これまで写真を取り込む際に何ステップもの作業が必要でしたが、iPadで撮影した画像をそのままシェーマとして所見欄に貼り付けられます。治療の前後が簡単に記録できるので便利です』
(恵子副院長)

『リハビリ中も持って移動できるのがいいです。先生の診察内容を確認し、所見をその場で入力できるため業務効率が上がりました』 (理学療法士)

さらに哲也院長は経営者の目線からのメリットも話してくださいました。
『リハビリ記録は、内容を覚えて診療時間終了後にまとめて記録することがあるため、理学療法士の負担も大きく残業代の負担もあり、どちらも不利益です。PCの端末台数を増やすとコストもかかりますし、設置するためのスペースや机も必要になりますが、iPadで使えるオプション機能は時間短縮だけでなく、コスト削減にも貢献してくれています』